

岐阜工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	コンピュータリテラシ	
科目基礎情報							
科目番号		0020		科目区分		専門 / 必修	
授業形態		演習		単位の種別と単位数		履修単位: 1	
開設学科		環境都市工学科		対象学年		1	
開設期		前期		週時間数		2	
教科書/教材		プリント、関数電卓 (SHARP EL -501M)の説明書を教科書として用いる					
担当教員		鈴木 正人					
到達目標							
以下の各項目を到達目標とする ① ワードプロセッサソフトが使用できる ② 表計算ソフトが使用できる ③ 関数電卓の基本的な使い方ができる ④ BASIC言語の文法の基本の理解							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		ワードプロセッサソフトを利用し簡単な文書と作画が正確に作成できること		ワードプロセッサソフトを利用し簡単な文書と作画がほぼ正確に作成できる		ワードプロセッサソフトを利用し簡単な文書と作画が作成できない	
評価項目2		表計算ソフトウェアを利用し簡単な表計算とグラフ作成が正確できる		表計算ソフトウェアを利用し簡単な表計算とグラフ作成がほぼ正確にできる		表計算ソフトウェアを利用し簡単な表計算とグラフ作成ができない	
評価項目3		関数電卓を使い、関数を含む計算が正確にできること		関数電卓を使い、関数を含む計算がほぼ正確にできる		関数電卓を使い、関数を含む計算ができない	
評価項目4		BASIC言語により基本的なプログラムが正確に組める		BASIC言語により基本的なプログラムがほぼ正確に組める		BASIC言語により基本的なプログラムが組めない	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		パーソナルコンピュータの操作方法の基礎を身につけ、電子メール、ワープロ、表計算、の各種ソフトウェアの基本的な使用方法について学ぶ。 また、関数電卓の基本的な使い方について習熟する。さらに初心者にも取りかかりやすいプログラミング言語である十進BASICによりプログラミングの初歩について学ぶ					
授業の進め方・方法		情報処理センターにてパソコンおよびソフトウェアの使用方法を中心に学ぶ。関数電卓(SHARP EL-520M)を購入後、クラスルームにて関数電卓の使い方を練習する。その後再び情報処理センターにて、十進BASICを教材としてプログラミングの初歩について学ぶ。関数電卓は共同購入を予定している。USBメモリは各自で用意すること。英語導入計画：Technical term(10%)					
注意点		パーソナルコンピュータの基本的な操作方法が身に付けば、後は実験実習のレポート作成など様々な用途に利用し、各自でソフトウェアに習熟していくことを期待している。 学習・教育目標：(E) 1 0 0 %					
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	情報処理センターにあるコンピュータの利用方法。電子メールソフトの設定			コンピュータの基本操作ができる	
		2週	ワードプロセッサソフトウェアを用いた文書作成 (ALのレベルC)			ワードプロセッサソフトウェアで文書が作成、保存できる	
		3週	ワードプロセッサソフトウェアを用いた作画 (その1)			ワードプロセッサソフトウェアで基本的な作図ができる	
		4週	ワードプロセッサソフトウェアを用いた作画 (自由課題&クラス内で紹介) (ALのレベルB)			ワードプロセッサソフトウェアで複雑な作図ができる	
		5週	表計算ソフトウェアの基本的な使い方 (その1)			表計算ソフトウェアでデータの入力、編集ができる	
		6週	表計算ソフトウェアの基本的な使い方 (その2)			表計算ソフトウェアで表計算ができる	
		7週	表計算ソフトウェアの応用的な使い方 (グラフ作成、関数)			表計算ソフトウェアで任意のグラフが描ける	
		8週	中間試験				
	2ndQ	9週	講義で使うプログラミング言語の説明			十進BASICの起動、編集ができる	
		10週	プログラムの入力と保存、実行			十進BASICで簡単なプログラム入力ができる	
		11週	入出力を伴うプログラム			入出力を伴うプログラムが組める	
		12週	繰り返しを伴うプログラム			繰り返しを伴うプログラムが組める	
		13週	分岐を伴うプログラム			分岐を伴うプログラムが組める	
		14週	関数電卓の基本的な使い方と関数電卓を用いた計算の練習 (ALのレベルC)			関数電卓で長い式を一度に計算できる	
		15週	期末試験解答解説など				
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	工学基礎	情報リテラシー	情報リテラシー	情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識を活用できる。	3		
				コンピュータのハードウェアに関する基礎的な知識を活用できる。	3		
				情報伝達システムやインターネットの基本的な仕組みを把握している。	3		

			情報セキュリティの必要性および守るべき情報を認識している。	3	
			個人情報とプライバシー保護の考え方についての基本的な配慮ができる。	3	
			インターネット(SNSを含む)やコンピュータの利用における様々な脅威を認識している	3	
			インターネット(SNSを含む)やコンピュータの利用における様々な脅威に対して実践すべき対策を説明できる。	3	
評価割合					
			試験	合計	
総合評価割合			100	100	
基礎的能力			0	0	
専門的能力			100	100	